



地域交流最小複合施設～Makura showcase(幕倉)

地域が動くきっかけを地域の既存ストックを活用
そこから動き出す地域の想いがこの地域創生の原点
地域の魅力を映し出すショーケース



Team Makura showcase

北海道中川郡幕別町

幕別町

北海道の道東エリア十勝地方にあり、帯広市から東へ車で20分ほどに位置し、1次産業が盛んで全国有数の食料基地である。一方で畑作農業としてはまとまった大きな敷地が必要になるため、郊外を中心に人口は点在している。少子高齢化も関係し役場のある本町地区は空洞化が顕著になり、少数の商業施設がある以外は、空き家がとて多く課題になっている。近年のローカル線廃止の中、JR 幕別駅があり帯広市に加えて、十勝帯広空港や十勝川温泉からも比較的近いなど交通利便性が良い地域でもある。また、オリンピック選手も多数輩出するなどスポーツの環境が整っており、また子供達の教育にも力を注いでいる。幕別町は帯広市と札内川を隔て形成されており、そのエリアの札内地区は振興住宅地として発展し、また旧虫類村を合併し広い面積を保有しているが、エリアごとに分かれており一体的な取り組みはまだできない現状もある。

(出典元 yahoo 地図)



畑作生産量は、トウモロコシ、じゃがいも、山芋、大根、ゴボウやキャベツなど全国収穫量もすべて上位という、恵まれた大地で多くの方が農業を営んでいます。近年では1次産業から6次までを経営する方々も増え、経済も心も豊かな地域となっています。また、パークゴルフ発祥の地として、国際大会が開催されるなど多くの町民が日々楽しんでいる環境があります。高齢者の方々も毎日日課として楽しむことで、足腰もそして皆さんが元気な町であります。恵まれた地域環境が人の心に豊かさを与えてくれます



本町地区は帯広と釧路を繋ぐ国道38号と JR 幕別駅に囲まれたエリアで幕別町役場があります。立地環境が良いですが、文化施設や学校が南エリアにあり、住宅地も南へ移動し本町が空洞化



一方で抱える課題としては、地方の町の持つ共通なものがあります。少子高齢化、町の空洞化で、居住区が郊外又は市などへ流れ人口減少がここでも見られます。町の商店も生活に必要な最小数が残るだけで町中には空き施設が多くなっています。また魅力的な場所も多いので単発では生かすことができず、自治体も苦悩が続いています。一方1次産業が全国有数地域の弊害として、皆さんが豊かな生活ができて何か新しい取り組みに汗を流して取り組もうという意識は少なくなっている一面も少し感じられています。

きっかけづくり

地域の立地条件(交通利便性)や魅力が潜在していることを肌で感じ、この地域の体温にあったそして地域の時間に沿って、「きかけ」を創ることで、地域の想いが動き始めると感じたので、空き施設利活用の促進もかねて、築古倉庫のコンバージョンを行い、地域の最小複合交流拠点目的にプライベートで取り組みました。

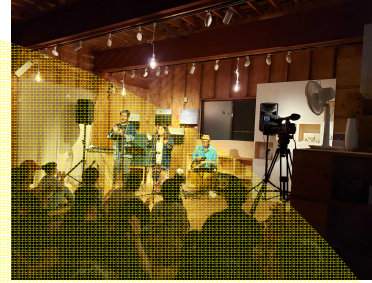
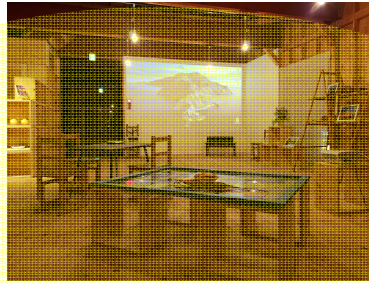
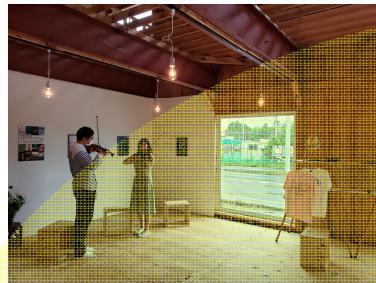


当初はコンバージョン後にはここを1棟レンタルして運営する方を想定していましたが、コロナの影響もあり凍結したことから、当面を地域の有志ボランティアでご利用の時にオープンする形式としています。設計図を創らず、メモで仲間と共に改修して費用をおさえ安価な利用料にも反映しています。

地方では施設一つ一つが長年の町の風景を構成しています。住んでいる方々の記憶であり記録。可能な限りその風景を継承するのが望ましいと考え、外観は当時のままとし、室内も佇まいを残しながら材料種別も最小としてロス・産廃も最小となるように配慮して、また多数の整形木箱を製作し、間仕切壁や可動棚として、室内全体を木のぬくもりと香り、また利用に併せ木箱を自由にアレンジできるようにしています



既存ストックでは違反建築物も多い実態があります。利活用にはその点もリスクとなり有効活用が進まない一つの要因でもあります。建築基準法は利用者の安全を保障するものですが、今回のコンバージョンにあたっては、適法性を確保する改修も含め行っており、地域の皆様にもストック利活用を進める上で重要な役割と考えています



地域の一つの既存ストックに地元や周辺地域が集い地元との交流イベントなど他方からの利用による地域の賑わいの創出
 アートをはじめ作家さんによるポップアップミュージアム
 その刺激を受けこの秋に2名の作家さん移住する

幕別スパイラル

地域がきっかけにより
 動き出した地域の連動
 また、それらは地域の
 回遊の新しい姿形



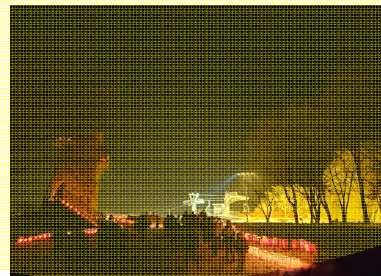
音楽や映画や今までにない楽しみがここで演出される
 仲間と「共に」創る

地域再生のワークショップ
 の会場もなり再生を肌で
 感じながら自分の住んでいる
 地域をより魅力的にと

一つのきっかけと地域の想いが調和する「きっかけ」の木箱

この施設の交流と人と人の繋がり感動し、公園の大規模な音楽フェスをこの秋に開催する。新たな若いキーパーソンが生まれた

Makura での動きに誘発され町が公園の再整備計画をプロポーザル行政が地域の想いに感動して動き出す。



大きな財が投入されなくても地域は勝る人の想いが大きい
 その想いを引き出すことへの取り組み

公園再整備の動き併せて冬に閉校なった高校への感謝地域の皆さんと共に紙袋ランタン感謝を刻み明かりを灯し、その後そのランタンを再整備の公園で灯し。幕を下した高校から、新たに動き始める地域へと灯りつないだ。地域の人達の手で子供達の笑顔を生み出すことで地域が元気になる。自分達の住んでいる地域が好きと思えることがなよりの地域創生の基本であり、それは他方からみると大きな魅力に映る



LAMP LIGHT FESTIVAL 2021

Airida / 木箱 / 熊谷隼人 / standard sky
 TWO-nothing / なかにしりく / Hikage
 Black Chambray / the maldorors
 山田祐伸 + 塚野洋平 + MOTO
 lore / the winy bean project

2021.10.23 日 入場無料

北海道 幕別町 明野ヶ丘公園 スキー場
 OPEN 9:00 / START 10:00 / END 19:00
<https://lamplightfes.com>
info.lamplightfes@gmail.com

LAMP LIGHT FESTIVAL 実行委員会